

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



「保守の会」所属議員
ユニークな人材そろい

中学校給食の改善意見



以前のネットアップ写真から転載しました

町田市の中学校給食は、外部の委託業者が調理した給食弁当を導入していますが、現実には不人気で利用率が 10%程度まで減少しています。昨年、ネット予約で1日単位の注文が可能になりましたが、状況を一変する事態にはなっていません。

市議会には、昨年、公立小学校と同様に自校方式による学校給食を求める請願がありましたが、現行の大規模変換を前提とする主張であったことで、否決となりました。市議会で給食弁当を議会内で試食したことがありますが、私には、現実の中学校給食で実施するものと同メニュー、条件であったか疑問を拭い去ることができませんでした。

聞くとところによると、中学校給食を食べたことがない生徒さんは80%に上るそうです。そこで、私が所属する保守の会では、中学生全員を対象にした「中学校給食の無料試食実験」を正月元旦より新規に提唱しています。もとより、様々の抵抗や反論があるでしょうが、私は、大人の判断だけでなく、中学生本人の判断と選択を大事にした施策が必要だと考えています。

視察報告と電子決済展望

宮古島市の会派視察では、「訪日外国人送客およびキャッシュレス化」の記載を担当し、提出しました。*HPに掲載済み。

一般にも、キャッシュレスの電子決済が話題になりますが、その方法は 10 社ほどがそれぞれに提案しており、どれもが主導権を取るために顧客の囲い込みをはじめています。金融機関も都銀、地銀、信用金庫などのそれぞれが電子決済のネットワークを目指しているようで、元来がキャッシュレス化ツールであるはずのクレジットカード会社も、電子決済方式との相互交流を目指しています。

アプリをスマホに入れておけば現金を持たずにあらゆる買い物も交通移動も楽にできる時代が来る、QR コードをかざすだけで決済が完了するという利便性があつという間に普及する気がしています。もちろん、ポイント還元などの原始的な利用促進策があつての誘導でしょう。

宮古島視察時にはさほど思わなかったキャッシュレス化の到来が明日にも始まる勢いです。



宮古島の「ドン・キホーテ」は大型モール

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇高校生との意見交換会は市内の高校に限らず、市内在住で市外の高校の高校生も対象

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



当初予算に見る町田の交通課題

2019 年の当初予算の目に見える特徴では、南町田地区の変貌があります。駅名も「南町田グランベリーパーク駅」となり、町田市立の鶴間公園も東急電鉄の大型商業施設「グランベリーパーク」の一部に実質されるでしょう。町田駅は多摩都市モノレール町田延伸に関する予算が計上され、今後 14-16 年後の開通に向けた展望が出てきましたが、今回も含めて当面はその具体化を見せるものはないでしょう。小田急と JR を結ぶこととモノレールの連携をどのように描くかというスケッチの段階と言えましょう。

JR 成瀬駅もロータリー側を一新する工事が着手されます。小田急玉川学園前駅は、デッキで文化センターと直結する工事が具体化してきます。小田急鶴川駅は北口側の変化が先行し、南口の再開発はまだまだ見えてきません。JR 相原駅では、東京都道で町田街道の「大戸踏切」の立体交差化が課題ですが、工事にはまだまだ時間がかかります。京王相模原線多摩境駅は出来上がっており、周辺生活環境の整備が続きます。小田急多摩線は、本来、2027 年のリニア中央新幹線の開通に合わせた計画ですが、まだ地域の基盤整備の段階で、開通の展望は語られていません。



火災出動の消防車が集結した町田駅

広報紙予算減で知る新聞購読減



予算の審査を通じて、「広報まちだ」の新聞折込み数が大幅に減少していることがわかりました。改めて調べてみると、「広報まちだ」の 2018 年 4 月 1 日号は 118,076 部が新聞折込みで配布されていましたが、2019 年 3 月 1 日号は 109,276 部に減少していました。なんと、この間に町田市内で新聞発行部数が 8,800 部も減少していることとなります。折込みの新聞数は、全国紙の朝日・毎日・読売の 3 紙に東京、日経、産経を含めた合計販売部数です。町田市の全所帯数 195,643 戸(2019.1.1)に比べて、55.85%の割合になっています。この中には、一戸で 2 紙以上を取っている家庭もあるでしょうし、あるいは事業所が購入する部数もかなり含まれているでしょう。つまり、実質的には全国新聞の購読戸数は全所帯の 50%を下回っていると思います。

「広報まちだ」の 2019 年 2 月 1 日号は 125,421 枚が作成されましたが、約 16,000 部の部数が各駅の配布個所や配布スポットに配置されています。こうした発枚数や折込み数の変化を通じて、新聞販売部数の大幅低落傾向を知る事が再確認できました。

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (自宅)



メール送信

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート①-2 田代 杏夏

今回は一般財団法人日本青年館を訪れました。一般財団法人とは、団体の公益性の有無や活動目的の内容は問われず、一定の財産があれば設立できます。主に拠出された財産を一定の目的のために利用することに重点をおきます。一般社団法人は非営利の法人で、設立時に有する資金がなくても設立することができます。

日本青年館は、ホテルや会議室ホールの運営などの収益活動を通じて様々な公益事業を行い社会に還元をしています。日本青年館の活動は社会の発展に大きな貢献をしていると感じました。吉田つとむ議員がたびたび主催するピアノコンサートの出演者のクトロヴァツ兄弟（ウィーン在住）は、この日本青年館が日本に招いているものです。

お話をうかがった後、TEPIA 先端技術館にも立ち寄りしました。この施設は最先端の科学技術について、体験し学ぶことができます。ここでは企業がそれぞれに出品した最新ロボットなどの展示を見学しました。



東海大学新3年生 田代 杏夏(第43期生)

研修レポート①-2 秋山 真聖

町田茶道会の月例茶会に参加しました。私はお茶席に行ったことがなかったので楽しみにしていました。その反面、普段縁遠い礼儀作法があると聞いていたので不安もいっぱいでした。何か粗相があったらどうしよう、と色々考えて萎縮していました。しかし茶道会の方は皆さま気さくに話しかけてくださり、だいぶ気が楽になりました。色々な作法はあるものの、全て理にかなっている動作である事がわかりました。茶器を清めるために拭く動作、お客様にお茶碗の正面を向けて敬意を払う事、正面を使わず茶碗をずらす事など。お客様をもてなすために花を生け、掛け軸を飾って茶室をしつらえ、道具に気を配り、美味しいお菓子を用意して食べていただき、タイミングよくお茶を点ててお出しする。まさに総合芸術の域であり世界に誇れる日本の文化であると感じました。70年も茶道をやってらっしゃるというベテランの方もいて趣味を持って生き生きと活動されている素晴らしい方が沢山いらっしゃるのだな、と感服しました。様々な礼儀作法を教えていただき、有意義な時間を過ごす事ができました。



玉川大学新3年生 秋山 真聖(第43期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・情報公開

吉田つとむ

交通文化都市・若者育成の街

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

研修レポート2 秋山 真聖

町田市教育センターの見学をさせていただきました。教育学部に在籍していますが、このような公的機関を実地に見学するのは、初めてでした。教育研究所と教育相談所の統合で発足した施設で、統廃合により使わなくなった小学校の建物を利用して運用されています。事業の対象は幅広く、教員・学校へのサポート・情報提供はもちろん、児童生徒、保護者からの相談も受け付けるので、活動は多岐にわたります。インクルーシブ教育への要望が高まっているので、保護者が児童の就学時に、どの学校へ進ませるか、などの相談が増えているとの事です。副籍制度というシステムがあり、特別支援学校の児童・生徒が居住する地域の小・中学校にも籍を持ち交流する事が出来るそうです。不登校の人数は、急激に増えている訳ではないですが、少子化が進む中で微増しているので、割合としては上がっていると感じます。既存の学校だけで完結する事を目的とせず、フリースクールや、eラーニングなどを活用して柔軟に対応していく事が求められていると思います。子どもたちの未来を切り開く、崇高な仕事だと感服しました。



玉川大学新3年生 秋山真聖(第43期生)

研修レポート2 田代杏夏

今回は町田茶道会（高野宗佳 会長）主催で行われる月例茶会に出席しました。

広間席の江戸千家と立礼席の裏千家の2つのお茶会に参加しました。私は高校の時茶道部に所属していましたが正式なお茶会に参加するのは初めてでした。部活ではどうしてもお点前の練習が中心になるので緊張しますが、お茶会はとても和やかで道具やお菓子の説明も丁寧で聞いていてとても楽しかったです。作法が分からなかったり、間違えた時は隣に座っていた方が優しく教えてくださいました。

流派によって作法は違いますが、どの流派もお客さんをもてなすということが変わりません。お茶会に参加してみて改めて茶道の奥深さを感じました。

お茶席の入場時に、吉田議員の代わりに署名をするように勧められましたが、私は字が下手なので断りました。今後は、書道の練習もやらないといけないと思いました。



東海大学新3年生 田代 杏夏(第43期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)